

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年2月20日(2014.2.20)

【公開番号】特開2012-141434(P2012-141434A)

【公開日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-029

【出願番号】特願2010-293802(P2010-293802)

【国際特許分類】

G 03 G 15/01 (2006.01)

G 03 G 21/14 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/01 R

G 03 G 21/00 3 7 2

G 03 G 15/01 Y

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の像担持体と、

前記複数の像担持体のそれぞれに対応し、トナーにより対応する像担持体に画像を形成する複数の現像手段と、

前記複数の現像手段のそれぞれを対応する像担持体に当接させて画像を形成する第1のモードと、前記複数の現像手段の1つを対応する像担持体に当接させて画像を形成する第2のモードのいずれかで画像を形成させるように前記複数の現像手段を制御する制御手段と、

を備えており、

前記制御手段は、第1の画像を前記第1のモードで形成させた後、前記第1の画像に続く第2の画像を前記第2のモードで形成させることができ可能である場合において、前記第1の画像が形成された後で前記第2の画像の形成が開始されるタイミングより前に、前記第1のモードから前記第2のモードに切り替えが完了するのであれば、前記第2のモードに切り替えて前記第2の画像を形成させるように前記複数の現像手段を制御することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記制御手段は、前記第1の画像が形成された後で前記第2の画像が形成を開始されるタイミングより前に、前記第1のモードから前記第2のモードに切り替えが完了しないのであれば、前記第1のモードで前記第2の画像を形成させるように前記複数の現像手段を制御することを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

画像情報を解析し、前記制御手段に画像の形成の開始を指示するコントローラを備えており、

前記コントローラが、前記第2の画像の形成が開始されるタイミングを前記制御手段に通知することを特徴とする請求項1又は2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

トナーによる画像を記録材に定着させる定着手段を備えており、
前記第2の画像の形成が開始されるタイミングは、前記定着手段の端部の温度が予め定めた値以下となる様に決定したタイミングであることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項5】

トナーによる画像を記録材に定着させる定着手段と、
記録材のサイズを検知する検知手段を備えており、
前記第2の画像の形成が開始されるタイミングは、前記検知手段が検知した前記第2の画像が形成される記録材のサイズが前記第1の画像が形成された記録材のサイズより大きくなつたときに、前記定着手段の端部と中央部の温度差が予め定めた値以下となる様に決定したタイミングであることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明による画像形成装置は、複数の像担持体と、前記複数の像担持体のそれぞれに対応し、トナーにより対応する像担持体に画像を形成する複数の現像手段と、前記複数の現像手段のそれぞれを対応する像担持体に当接させて画像を形成する第1のモードと、前記複数の現像手段の1つを対応する像担持体に当接させて画像を形成する第2のモードのいずれかで画像を形成させるように前記複数の現像手段を制御する制御手段と、を備えており、前記制御手段は、第1の画像を前記第1のモードで形成させた後、前記第1の画像に続く第2の画像を前記第2のモードで形成させることが可能である場合において、前記第1の画像が形成された後で前記第2の画像の形成が開始されるタイミングより前に、前記第1のモードから前記第2のモードに切り替えが完了するのであれば、前記第2のモードに切り替えて前記第2の画像を形成させるように前記複数の現像手段を制御することを特徴とする。